

市指定文化財<彫刻>

たかながじんじやおそなえはち
高永神社御供鉢

指定日 昭和56年7月3日

所在地 菊池市旭志新明(高永)



青銅製で、口径23cm、高台底径13.5cm、全高6.8cm、高台底高1cm、厚さ0.2cm、口径が大きく外に反り、高台の径も大きく、安定している。外観は暗黒褐色を呈し光沢があり、荘重にして気品高い御供鉢である。

鉢底に「大宮大明神 大神經安 正平17年(1362) 5月□日」の銘がある。

この御供鉢は、もと高永奈我神社の社宝であったが、昭和27年(1952)、高永本分の奈我神社と、高永出分の菅原神社が合社して高永神社と改称したので、今はこの神社の社宝となっている。

『三代実録』に「貞観^{じょうがん}18年(876)に、擬大領、日下部辰吉、所部正六位上、奈我神社、川辺獲白亀言言」とある。